

2006年 アジアビジネスパーソン意識調査

アジア主要5都市のビジネスパーソンに対し意識調査を実施

- アジアにおけるビジネス中心都市は香港から上海へ
- “都市”としての魅力もビジネス環境を背景に上海へ
- 求められる東京の国際競争力向上

森ビル株式会社（東京都港区 代表取締役社長 森稔）では、2006年10月～11月にかけて「アジアビジネスパーソン意識調査」を実施しました。当調査はアジア（パシフィックエリアを含む）各都市の評価等を把握することを目的として実施しております。

調査対象はアジア主要5都市（上海、香港、台北、シンガポール、東京）の超高層複合ビルに勤務するビジネスパーソンであり、「ビジネス都市としての評価」、「総合的に魅力的な都市としての評価」、「ワークスタイル・ライフスタイル」に関する調査を行いました。

この度、調査結果がまとまりましたのでご報告いたします。

■ 「2006年 アジアビジネスパーソン意識調査」要項

調査対象都市 上海、香港、台北、シンガポール、東京のアジア主要5都市

調査対象者 524名 上記5都市の超高層複合ビルに勤務するビジネスパーソン

調査対象都市	回答者数	調査対象ビル
上海	100名	Jin Mao Tower、Plaza 66、Raffles City Shanghai
香港	100名	International Finance Centre
台北	105名	Taipei 101
シンガポール	100名	OUB Centre、UOB Plaza、Suntec City
東京	119名	六本木ヒルズ

調査方法 対面ヒアリング調査及び、WEBによるアンケート調査

※世界各都市に拠点をもつマーケティング・リサーチ会社 株式会社リサーチ・インターナショナル・ジャパンに調査実施を委託。

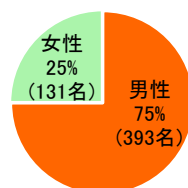
集計方法 各都市の性別割合が同水準になるように補正を行い集計。

※結果割合については、各項目とも補正值を用い集計しており、回答者数(N値)より算出した割合とは必ずしも一致しない。

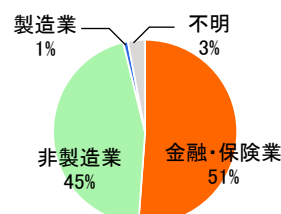
調査期間 2006年10月19日～11月9日

回答者属性

<性別内訳>



<業種別内訳>



【問合せ先】

森ビル株式会社

プロパティマネジメント事業本部 PM企画室 橋本茂一郎 長谷川健
 東京都港区六本木6丁目10番1号 六本木ヒルズ森タワー 〒106-6155
 TEL 03-6406-6672 / URL <http://www.mori.co.jp>

1. アジアにおけるビジネスの中心都市

- 現在のビジネスの中心は「香港(32%)」
- 5~10年後のビジネスの中心都市は「上海(55%)」に

【ビジネスの中心は香港から上海へ】(図1)

アジア・パシフィック地域で現在のビジネスの中心都市は「香港(32%)」との回答が最も多く、次いで「上海(22%)」、「東京(21%)」、「シンガポール(20%)」がほぼ同評価で続いている。

一方、5~10年後は、「上海」が55%を占め、他の都市を大きく引き離す結果となった。

【5~10年後は全ての都市で上海が評価される】(図2)

都市別に見てみると、現在では台北を除いて全ての都市のビジネスパーソンが自らの都市をビジネスの中心都市であると回答しており、特に「東京(59%)」ではその傾向が強い。

しかし5~10年後には全都市において上海がビジネスの中心であると回答する割合が1位となり、上海の将来性に対する評価が非常に高い結果となった。

図1. アジアにおけるビジネスの中心都市

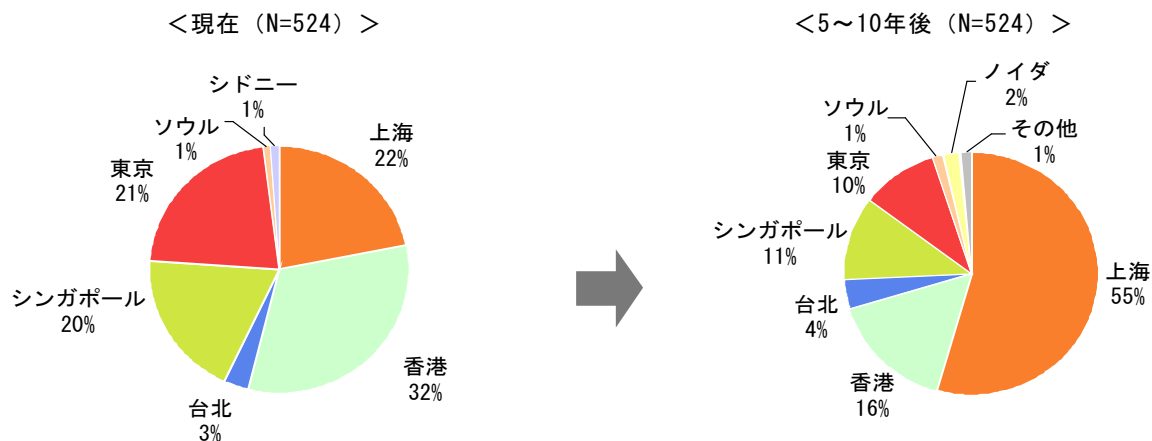
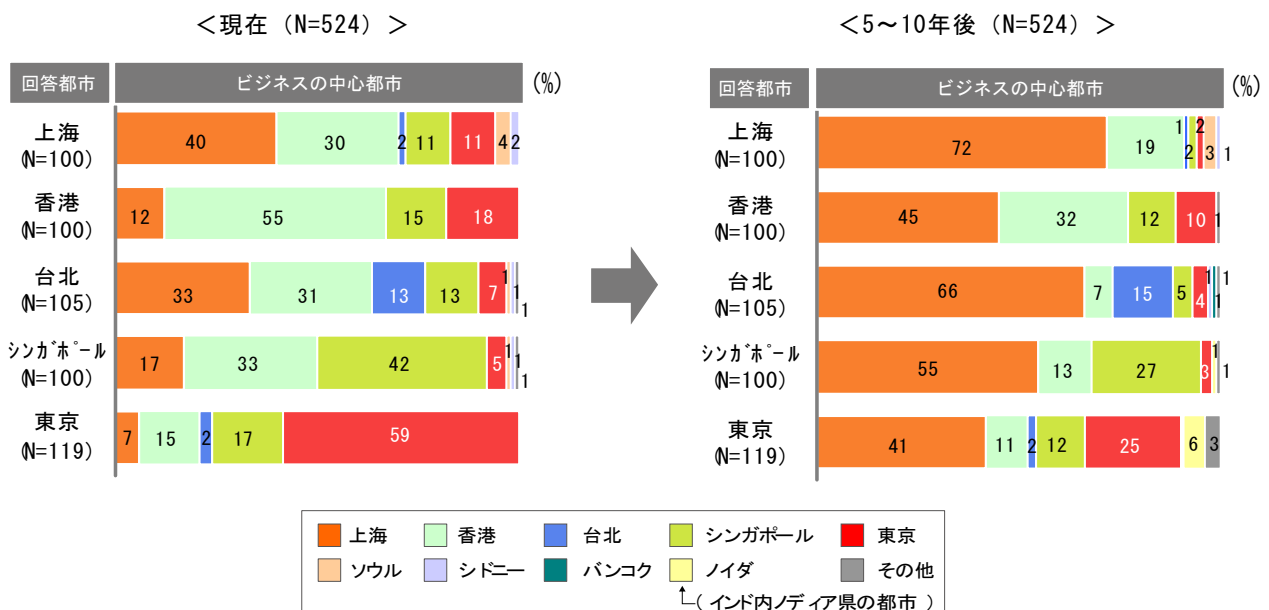


図2. アジアにおけるビジネスの中心都市(回答都市別内訳)



2. アジアにおける総合的に魅力的な都市

- 現在魅力的な都市は拮抗
- 5～10年後魅力的な都市は「上海(46%)」

【魅力のある都市も上海へ】 (図3)

続いてアジア・パシフィック地域で、現在総合的に魅力的な都市は「シンガポール(24%)」との回答が最も多いものの、「上海(22%)」、「東京(22%)」、「香港(20%)」もほぼ同程度の割合で選択されており、各都市の評価が拮抗している。

しかし5～10年後には「上海(46%)」が突出しており、ビジネスの中心都市としての評価同様、他の都市を大きく引き離す結果となった。

【シンガポール、東京では自らの都市を評価】 (図4)

都市別に見てみると、現在では台北を除き各都市とも自らの都市の評価が高くなっている。

しかし5～10年後の評価を見てみると、5都市全てで上海の評価が高まり、特に香港、台北では半数以上が上海を評価している。一方シンガポール、東京では上海の評価が大きく高まるものの、引き続き自らの都市を一番高く評価する結果となった。

図3. アジアにおける総合的に魅力的な都市

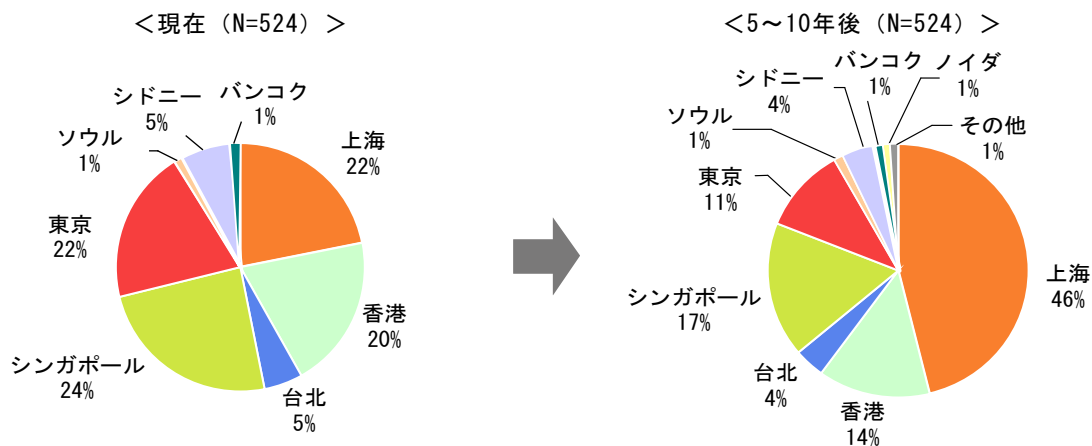
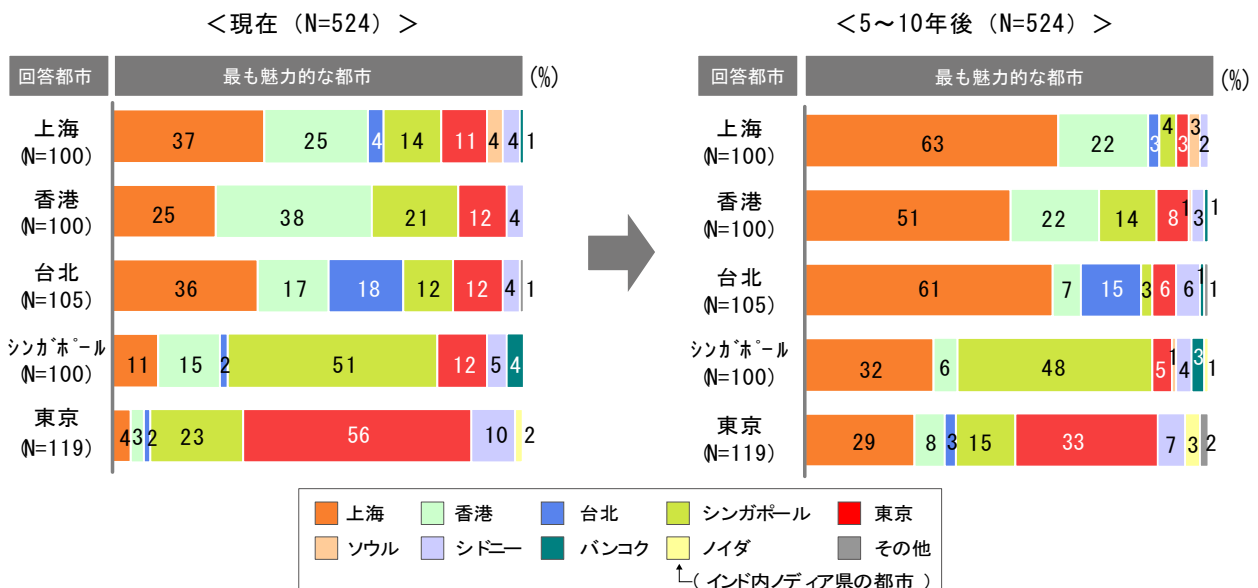


図4. アジアにおける総合的に魅力的な都市 (回答都市別内訳)



- 上海は「投資環境」、「ビジネス市場規模」を背景に魅力的な都市へ
- シンガポール、東京は「治安」が高い評価

5～10年後に最も魅力的な都市になる理由についても聞いている。それぞれの都市を評価したビジネスパーソンが挙げた理由を「ビジネス環境」、「生活環境」、「その他」の3分類に分けて見てみたい。

まずビジネス環境では「投資環境」、「ビジネス市場規模」において都市間での差が見られ、上海がそれぞれ高い評価になっているのに対し、東京の「投資環境」に対する評価は相対的に低くなっている。

次に生活環境を見ると、シンガポールと東京の「治安」に対する評価が非常に高くなっている。

最後にその他の項目を見てみると、シンガポールが総じて低くなっている他は、都市間での大きな差は見られない結果となった。

アジアにおける都市間競争が激しさを増す中、本調査では上海がビジネス面でも、“都市”としての魅力の面でも今後大きく地位を高めるという結果となった。一方上海に比べビジネスパーソンからの評価が低い東京では、その評価を高めるためにも、魅力的な都市づくりを通して国際競争力を向上させることがより一層求められていると言える。

図5. 5～10年後に最も魅力的な都市になる理由(複数回答)

評価理由		5～10年後に最も魅力的な都市				
		上海 (N=246)	香港 (N=67)	台北 (N=22)	シンガポール (N=87)	東京 (N=61)
ビジネス環境	投資環境	62%	66%	41%	66%	32%
	ビジネス市場規模	64%	46%	52%	30%	55%
	公共の交通機関の利便性	32%	43%	61%	49%	45%
	情報・通信のインフラの整備	39%	44%	32%	47%	53%
	物流網の整備(港/空港/高速道路など)	33%	33%	36%	45%	28%
生活環境	通勤・通学の利便性	24%	37%	36%	28%	24%
	物価	34%	31%	18%	28%	15%
	治安	22%	28%	18%	67%	59%
	防災・危機管理	10%	13%	18%	21%	13%
	緑地・公園の数	20%	25%	18%	27%	19%
	余暇・レジャー環境の充実	29%	32%	23%	26%	25%
	多言語対応状況(案内板、公共施設のスタッフ等)	25%	40%	29%	37%	22%
	教育環境	22%	39%	27%	32%	18%
その他	最先端の情報や流行が集まる	36%	39%	53%	19%	41%
	都市の知名度	39%	29%	34%	8%	31%
	その他	1%	3%	10%	3%	4%

※各都市を選択した回答者全員が選択した場合を100%とする

【コラム】各都市のビジネスパーソン像

今回の調査では、都市の評価に加え、ワークスタイル・ライフスタイルについても聞いている。その結果、とりわけ上海ではコミュニケーションを重視した、アクティブなワークスタイル・ライフスタイルを志向しているという結果となった。

【プライベートよりもキャリアを重視】

キャリアを重視する傾向は上海で最も強く、シンガポール、香港、台北と続く。こうした価値観も上海のビジネス都市としての成長の背景になっているのだろう。一方東京ではどちらともいえないという結果となった。

【最先端の商品や情報に敏感である】

最先端の商品や情報などの流行・トレンドに対する感度は東京だけではなく、台北や上海も同様に敏感という結果になった。

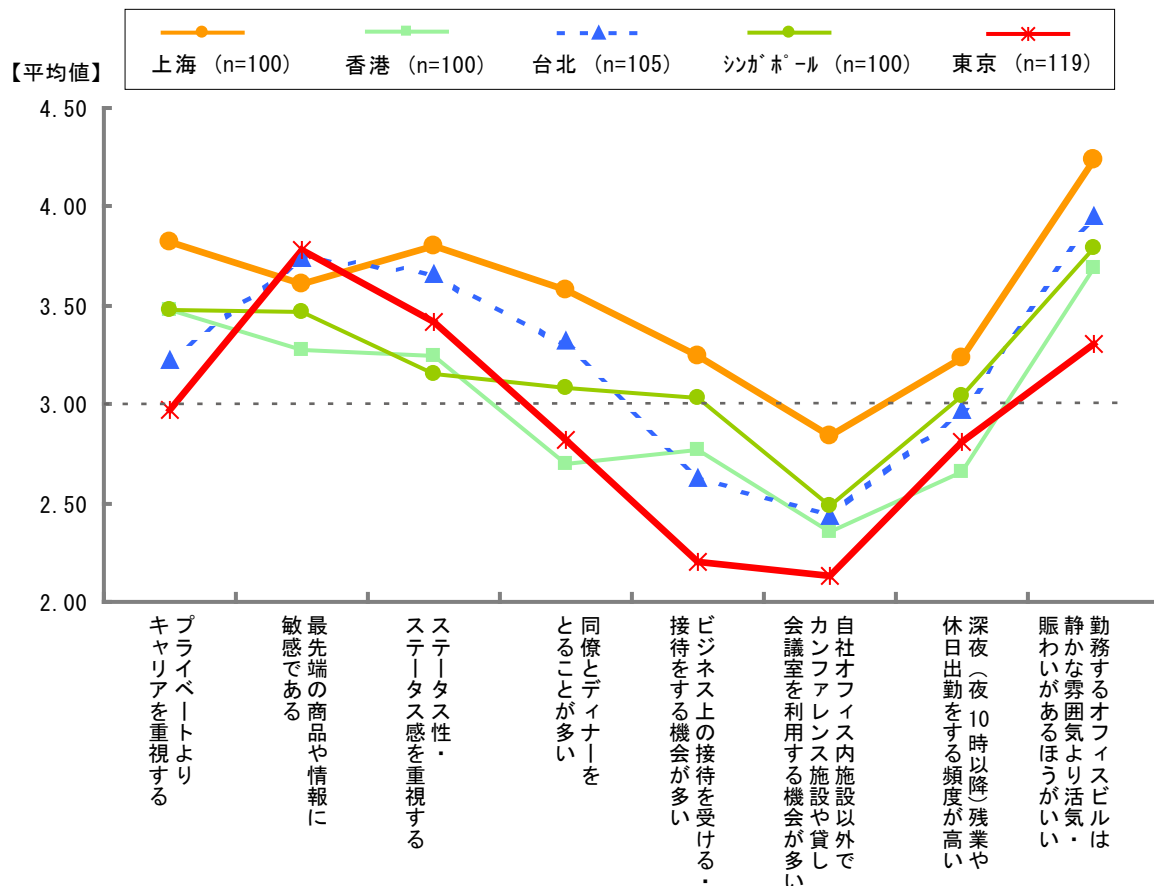
【同僚とディナーをとることが多い】、【ビジネス上の接待を受ける・接待をする機会が多い】

2項目ともに上海と東京では差が大きく、上海のビジネスパーソンがコミュニケーションを重視したワークスタイルを志向していることが分かる。

【勤務するオフィスビルは静かな雰囲気より活気・賑わいがあるほうがいい】

いずれの都市でも活気・賑わいを求める結果となったが、特に上海はその傾向が強く、都市としての活気ともつながる結果となった。

図6. アジア5都市ビジネスパーソンのライフスタイル・ワークスタイル



(5:非常にあてはまる 4:あてはまる 3:どちらともいえない 2:あまりあてはまらない 1:全然あてはまらない)